

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間のもつ治癒力や適応力をお伝えしています。肉体的、精神的なコトでお悩みの方も是非一読されてみてください。

健康新聞

発行所
発行人

新健康協会

〒813-0001

福岡市東区唐原6-7-1

TEL:092-661-1531

<https://shinkenko.jp>



次の御論文は、明主様（当協会の教祖）が、昭和二十四年に発表されたものであります。世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸甚です。

ミロク 五六七世界の建設

我等が唱える五六七世界の真相は、目下執筆中で、いずれ発表するつもりであるが、ここでは五六七世界建設までの過程について述べようと思うのである。勿論五六七世界とはキリストの予言した天国であり、釈迦の唱えた、いわゆる弥勒の世である。しかるに、この理想世界たる五六七世界は、今や孤々の声を挙げんとする寸前に迫っているのである。私の靈感によれば、今霊界においてはすでに五六七世界の土台は築かれたのである。これによって、近き将来いとも現実的にこの地上に出現する事は、疑

う余地はないのであるから、何と有難い時節に生まれたものではないか。実に我々は歓喜に堪えないのである。

それについて知らねばならない事は、例えば、今ここに一大豪壮な建築物を建造せんとする場合、今までその土地に存在していた古い家は破壊されなければならない。勿論その古材の中から新建築に役立つものを選び、洗い浄め、削り直して使用する事は勿論であって、今や五六七世界建設に当たってもそれと同様な事象が行なわれるであろう。それについて、今後発生するあらゆる事態が、人間の眼からみて理屈に合わないような事や、無益と思う事、破壊的な事等もあるかも知れないが、それは汚穢の一大清掃である事を知らねばならない。しかし一切は神意の具現である以上、人間の凡眼によつてとかく判断する事は出来ない——とすれば、人間たるもの大いに謙讓となつて一切の推移に順

応すべきである。

この事を靈感によつて知識し得た我等は、常に偉大なる神意を曲解せざるよう介意し、正しい神観をもつて、今後人類の経験にない、いかなる異常時や崩壊作用も、信仰に徹する者の特権として与えられたる安心立命の境地に住し、生を楽しみつつ時を待つべきである。このような甚だ掴みどころのない言い方も、深遠なる神の密意は現在具体的に言う事は出来ないからである。

要するに弥勒世界実現前、当然経なければならぬ、その過程に対処する心構えを整えるべきである。

浄霊体験記

- 浄霊の奇跡によつて 救っていただいた命…
- 浄霊に出会い 家族皆救われる…
- 苦しみから解放され とても幸せな日々…
- 何十年も続いた頭痛が 四カ月で良くなる…

浄霊によって真の健康体となり、運命が向上し、幸せになられた方々の体験でございます。

逆子・肺炎

浄霊の奇跡によって救っていただいた命：

アメリカ・ロサンゼルス支部
尾形藤代（58）
おがたふじよ



私の母は、私がお腹の中にいた時に、新健康協会を知りました。私は逆子と言われ、母のお腹は横に引つ張られるように膨らみ苦しかったそうです。両親は当時、仕事の関係で北海道の静内に住んでいました。ある日、母が知り合いの美容院に髪を切ってもらいに行きました。その美容師さんは新健康協会の会員さん（伊藤千恵さん）で、「お腹の子が逆子で苦しい」と話すと、髪を切る手を止めて浄霊をしてくれました。

すると私が自然に動き、母のお腹の痛みが楽になり、喜んで帰宅したそう

です。それから二週間後も母が苦しくなり、母は再び美容院へ行き、浄霊を受けました。するとまた楽になり、その後は母も苦しむことなく、自然分娩で私が生まれました。

人類救済のために お使い頂きたい：

この時はまだ母も支部を尋ねたことがなかったのですが、私が一歳を過ぎた頃、肺炎になりました。母は病院へ連れて行き治療を受けさせたそうですが、その後の容態が思わしくなく、医者からは「今晚が峠です。覚悟はしておいて欲しい」と告げられたそうです。母は病室で私を見つめながら浄霊のことを思い出していたそうです。「このままここで我が子を見つめるだけの何も出来ないままじっとしていいの…、浄霊をしてもらった時この子が自然に動いたあの事実を無視していいの…」と自分に問いかけていたそうです。

そして母が出した決断は「浄霊」でした。母は美容院の人に浄霊をお願いしたところ、一晩中ずっと浄霊をしてくださったそうです。すると夜中を過ぎた頃、激しく嘔吐したそうです。小さな体のどこに、これだけのものが入っていたのかと驚いたそうですが、それから顔色がピンク色になりスーッと気持ち良さそうに眠り出したのを見て母も一安心したそうです。その奇跡で明主様への信仰心が生まれ入会し、その数カ月後に父も入会しました。

私は一九七三年（昭和四十八年）四月十五日、八歳の時に入会しました。おかげ様で今私が命のお許しを頂いて

いるのも、明主様にお救い頂いた為でございます。そして明主様の世界人類救済の御神業に奉仕者としてお使い頂ける身を心より感謝申し上げます。誠に有難うございました。

（アメリカ・ロサンゼルス）

足の激痛・湿疹

浄霊に出会い 家族皆救われる：

荒尾支部
塘田秀子（73）
ともだひでこ



私が浄霊を知ったのは弟がきっかけです。私の弟は高校を卒業して化学工場に勤めていましたが、その環境が体に合っていなかったのか、体調を崩していました。弟は病院に行きましたが、体調はすぐれず、どうしたら良いか悩んでいました。そんな時、母が職場で「浄霊という方法があるよ」と聞き、弟に話すと、弟は「浄霊を受けてみたい」と言って、新健康協会に行くようになりました。そのおかげで弟は少しずつ良くなっていき元気になっていました。私もその姿を見ており、「浄

霊ってすごいなあ…」と想着いました。

その同じ年、私が二十三歳の時のことです。私は弟とバドミントンをして遊んでいて、私がサーブを打った瞬間、足の方から「プツン」という音が聞こえました。するとその途端、立つことが出来なくなり、その場に倒れてしまいました。痛みもあり、踵（かかと）を上げられなくなっていました。どうなるのだろうか…と心配していたら、母が「病院に行く？浄霊に行く？」と聞きますので、弟の姿を見ていた私は迷わず「浄霊に行く」と答えました。

最初は踵が痛く、歩くのも、足を地につけるのも難しかったのですが、浄霊を受ける度に痛みは和らいでいき、半年ほどで良くなり、何ごともなく歩けるようになりました。初めはどうなるのだろうか…と不安でいっぱいでしたが、良くなる度に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

これが私の初めての浄霊体験でした。その後も浄霊を続け、結婚して妊娠もしました。その時、「我が子も浄霊で守ってあげたい…」という強い思いが湧き、昭和五十六年四月、私が三十一歳の時に入会しました。

私の三人目の娘ですが、娘が一歳の誕生日を迎える前に湿疹が出始め、みるみる内に体全体に出ました。顔にもたくさん出ており、湿疹が痒いので、掻いては肌がガサガサになり、その上にさらに湿疹が出来るという状態でした。そんな時でも食欲はありましたので、体力が落ちることなく娘は元気に遊ぶことも出ていました。夜中にぐずってしまい、大変な時もありましたが、毎日、私と夫と交代で浄霊をしたことで、次第に楽になっていき、半年から一年が過ぎた頃には、あれほどたくさん出ていた湿疹もなくなり、顔も

とてもきれいになりました。湿疹の跡が残ることもなく、本当に有難かったです。今では仕事に育児に…忙しい毎日を過ごしている立派な二児の母親になっています。明主様に数々の奇跡を頂きまして、感謝申し上げます。

（熊本県荒尾市）

浄化作用

人間には体内の毒素（＝汚物）を排除して健康を促進しようとする働きがあります。これを称して自然良能力と言います。

例えばカゼの場合、体内にあってはならない毒素を溶かすために熱が出ます。溶けた毒素がハナやタンとなって排せつされるので体の中が掃除され、清浄化されます。

その毒素排除の過程を「浄化作用」と言います。ですから浄化作用は、熱や痛みを伴うので苦しみがありますが、体を健康にする大切な清掃作用でもあるのです。

ゼンソク

苦しみから解放され
とても幸せな日々：フランス・タヒチ出張所
ビヨ・マレバ（57）

私が初めて新健康協会（タヒチ出張所）で浄霊を受けたのは、一九九九年一月十九日、三十三歳の時でした。

ゼンソクは八歳の時に始まり、その頃は頻繁に起こっていました。また、ゼンソクが酷い時は何度も死を感じました。私はその度に数え切れないほどの医療を受け、その時は何とか発作は楽になりましたが、発作の回数が減る訳ではありませんでした。それどころか、ホコリを吸い込んだだけで、ゼンソクの発作が起こるようになりました。何でも良いから健康になれる方法を探し、ありとあらゆる医療や気功等も受けたのですが、一つも良くなりませんでした。

私のゼンソクの発作は大抵四、五日続き、丸一日から一日半は苦しさで、のたうちまわりました。そのため毎日コルチゾン服用しなければならま

んでした。しかし、その影響からか、心臓の鼓動は一分間に一〇〇回と増し、それが一日中続きました。

そんな時、近所の友人が、ゼンソクで苦しんでいる私を見て、浄霊を教えてくださいました。私はその話を聞き、すぐに試してみたいと思いました。

初めて浄霊を受けた時、私はゼンソクの発作中ではありませんでしたが、浄霊の後には非常に体の疲れを感じ、三十分後には眠り込んでしまいました。それから十二時間後、ふと目を覚ますと、驚いたことに元気になり、体調も良くなっていたのです。私はこのただならぬ出来事に、浄霊への興味が湧き、それから週二、三回出張所へ通うようになりました。

浄霊を受けるようになって十日が経ったある朝、目覚めるとゼンソクになっていました。その日は、少なくとも四時間は休みなく仕事がありましたので、発作が激しくならないかと心配していました。

私は、明主様に手を合わせてお願いした後、会社へと向かいました。家を出てから四十五分くらい経ったでしょう、その時初めてゼンソクの呼吸音がないこと、体の疲労がないこと、自分が普通に呼吸していることに気が付きました。私は大変驚き、この状況を信じるのが出来ませんでした。この時、何か素晴らしい神秘的なことが私の体に起こったのではないかと思いました。

数日後の週末、私は近くの島に出掛けたのですが、その時、ゼンソクの薬を持つてくるのを忘れていました。それまでの二十五年間、ゼンソク治療は医療に頼っていて、浄霊を受けてからまだ一カ月しか経っていませんでした。私にすれば、とてもうつかりしたな：とと思いました。実際、その時もゼンソク

の発作が起きたのですが、数日前に理屈では考えられない素晴らしい出来事の体験で、明主様は信じられる神様だということを見せて頂いていましたので、不安はありませんでした。

私はすぐに明主様を祈り、心からお願ひしました。すると四十五分後には魔法が解けたようにゼンソクの発作は消えたのです。また血圧も下がっておらず、快調そのものでした。

全く信じられませんでしたが！

夫も娘も、私のその姿に驚いていました。本当に素晴らしい体験でした。その後、一九九九年十月十六日に入会しました。浄霊を受けるようになって、ゼンソクの発作の回数も変わりました。最初の年は五、六回、翌年は二、三回、そして、その次の年は一回だけとなりました。浄霊を知る前は少なくとも、一カ月に一回か十日に一回は発作がありました。本当に驚くことばかりでした。

今、私はとても幸せです。浄霊を知らせて頂くという機会を与えて頂き、明主様に大変感謝しています。誠に有難うございました。

（ポリネシア・タヒチ島）

浄 霊

浄霊は、大自然のエネルギーであり、病気やあらゆる問題で苦しんでいる人、悩んでいる人を救う方法です。

浄霊によって魂は清浄化され、肉体が健康になっていきます。

まずは試されてみてはいかがでしょうか。

頭痛

何十年も続いた頭痛が
四カ月で良くなる：バクタプール支部
ヒマ・ティマシナル（58）

私は、十三歳（一九七七年）の時から頭痛を患っていました。当時、一日に五種類の薬を飲み、痛みを抑えていました。しかし痛みは治まらず、何度か病院に行っている内に、医師から「頭の左の血管が枯れている」と言われました。

その後も薬を飲み続ける必要があると言われ、それから三年間も薬を飲み続けたのですが、痛みが良くなることはありませんでした。

薬を飲んでも良くならず、むしろ薬を飲み続けるといけないという状況で、私もどうしたらいいだろう：と悩んでいました。

そんな時、私の状況を知った友人から「浄霊という健康法があるから試してみたら？」と教えてくれました。私は浄霊という言葉も初めて聞き、何のことか分かりませんでしたが、この状

況が良くなるのであれば：と思い、早速、バクタプール支部へ行くことにしました。

浄霊を受け始めてすぐは、何も変化を感じることはありませんでしたが、支部の方から「今後も出来るだけ浄霊を続けてみてください」と言われたので、その後も浄霊を続けることにしました。

日によつては頭が激しく痛む時や、起き上がることが出来ないという時もありましたが、出来るだけ支部に通い浄霊を受けました。すると、徐々に変化を感じるようになりました。なんと頭痛が和らいでいったのです。今まで感じたことのなかった状況に私は嬉しくなりました。

その後は段々と楽になっていき、薬も徐々に減らすことが出来ました。そしてついには薬を必要としない状況になり、浄霊を受け始めてから四カ月という短期間で頭痛が良くなりました。本当に嬉しく、心から明主様に感謝申し上げます。

その後も浄霊を続け、現在はとても元気に過ごしています。いろいろな事情があり、すぐには入会出来なかったのですが、二〇一八年の五月に念願だった入会をすることが出来ました。とても嬉しく、多くの人に浄霊の素晴らしさを伝えていきます。

長年苦しんだ頭痛が、短期間の浄霊で快復し、感謝しかありません。

明主様、誠に有難うございました。

（ネパール・バクタプール）



自然農法

明主様の御教え

無肥料栽培

私は今無肥料栽培に就き解説するにあたって先づ根本理論から説いてみるが、抑々土とは何ぞやといふ事である。言ふ迄もなく人間生命を保持すべき最重要なる五穀野菜を生育すべく、造物主が造られたものに違いない。従つて土そのものの本質は神秘幽玄なるものであつて、現在までの唯物科学によるも到底窺知し得ない事は論をまたない感である。然るに今日迄の農業は不知不識邪道に陥ちいりたる結果土の力を蔑視し、一切の作物をより良く生育するには糞尿又は化学肥料等の人為的肥料に依らねばならぬと思ひ、今日に到つたのである。

然るに以上の如き結果は、土壌の本質は漸次退化変質し、土壌本来の生育力は衰耗するに拘わらず、それに気が付かない為、農作不良の原因は肥料不足に因ると錯覚し益々肥料を施すから土壌の力は愈々鈍化しそれを補わんとして肥料をより施す結果、今日の如く日本の國土は瘦地化し、農耕者の口を揃えて嘆ずる処である。

自然農法とは自然を尊び、愛情をかけて育てること、自然力を生かす農法です。

自然農法体験談



荒尾支部
柴尾善博 (74)

私は熊本県玉名市と阿蘇市で自然農法での米作りを実施しています。私が新健康協会を知つたのは、昭和五十七年九月、ポストに健康新聞が入つていたからでした。そして、その時に農作物を無肥料・無農薬で栽培する「自然農法」という栽培方法があることも知りました。

私の家は代々農家だったこともあり、私が十代の頃には農薬障害になつたこともありました。そのため、人体に影響を及ぼす農薬を使うことや、その農作物を食するのは違うのではないかと疑問に思っていました。そんな時、明主様の自然農法を知ると、今まで疑問だったことが徐々に解決していき、「これしかない」と思つた私は、早速、自然農法に切り替えました。

自然農法を始めた頃は草取りが大変でした。また虫や病気で収穫が上がらないこともありました。しかし明主様の御教えを頂き、「尊い人間の生命を支える農産物は、不純物のない、生命力溢れた生きた野菜や米でなければならぬ」と思い、土の清浄化、種の清浄化を行い、工夫を加えながら、より安全で消費者の皆様安心して美味しく召し上がって頂ける米作りを目指して、日々努力をしています。

おかげ様で、年々収量も増え、農作物の栽培も安定していきました。米、小麦、そば、野菜等、皆よく育ち、いつも美味しく頂け、自然農法こそ大自然の法則に適つた農業であるとの確信を得ています。

美の世界

美によつて人間の情操を高め、生活を豊かにし、人生を楽しく意義あるものにすることができます。

「暮らしと花鳥風月」展 展示会ご案内

自然の美しい風物のことを指す「花鳥風月」。「花鳥」は花鳥画として東洋画の一ジャンルにもなっているように、鑑賞の対象であり、詩歌や絵画などの題材とされる自然の生きものの代表です。「風月」は自然の風景、光景を代表し、清らかな涼しい風と、明るく美しい月を示す「清風明月」からの取り合わせだと想像されます。そうした「花鳥」や「風月」という自然の風物を愛で、創作する風雅の遊びのことまでを含む「花鳥風月」は、日本の伝統的な美を表す言葉として浸透しており、私たちも共感できるものでしょう。

風流ごとは、日常を離れ、卑俗なものを振り払つて得られるもののような印象がありますが、毎日繰り返すつがな生活もまた尊いものです。一見、変わり映えのしないルーティーンのような暮らしの中で、そのかけがえのなさに気づく瞬間、そのきっかけとなるのも花鳥風月なのではないでしょうか。そのようなことから、本展では、いわゆる花鳥画と捉えられる絵画だけでなく、人々の生活する街を描いた浮世絵もあわせ、広い意味合いで「花鳥風月」を感じられる作品を展示します。

朝焼け、鳥のさえずり、吹いてくる風の匂い、その温度の変化に気づくこと、膨らむつぼみの色、萌え出る新芽、散り急ぐ花、着るものを一枚減らすとき、西瓜を口にできること、実る果実と紅く

色づく山々、虫の音、初雪、夕焼け、夜の訪れ、日ごとに形を変える月の姿。季節の移り変わりとともにある日々の暮らしで感じる自然は、このように豊かで、定型になつてしまつた「美しいもの」以上に心に響くものだと思います。ぜひさまざまな展示作品を通して、毎日の生活の彩りとなるような、自分にとっての花鳥風月を見つけてください。

解説 松田愛子



川合玉堂《早春》左隻

晴明会館

「暮らしと花鳥風月」前期展
期間…6月1日(木)～12月13日(水)

※晴明会館お問い合わせ ☎(092)661-1535

健康新聞についてのお問い合わせは
(092)661-1531まで